

2023年10月2日

セコム株式会社

ショックボタン操作不要のオートショックAED ラインアップ追加 「AED CR2-Auto」を販売開始

セコム株式会社(本社：東京都渋谷区、社長：尾関一郎)は、心停止状態の傷病者の救命に使用するAED(自動体外式除細動器)として、ショックボタン操作を行わなくてもAEDが自動的に電気ショックを与えるオートショックAEDの市場普及を加速するためにラインアップ強化を図ることとし、10月2日(月)から「AED CR2-Auto」を、販売開始します。



オートショック AED「AED CR2-Auto」

日本で普及しているAEDの多くは、電気ショックが必要と判断された場合に救助者が電気ショックボタンを押す必要があるセミオートAEDですが、救命行為に不慣れた救助者の場合、ショックボタンを押すことを躊躇して適切なタイミングで電気ショックが実施されないケースがあり^{※1}、また、心肺蘇生を行った救助者には、強いストレス症状などがみられたとの報告もあります^{※2}。

一方、オートショックAEDは、傷病者の心電図解析をして電気ショックが必要と判断された場合には、自動で電気ショックが実施されるため、傷病者への処置が遅れるリスクの低減や、救助者の不安・ストレスの軽減が期待でき、多くの国でオートショックAEDが浸透しています。こうしたオートショックAEDの特徴やメリットを踏まえ、セコムは2021年12月に日本で初めてオートショックAEDを発売し、現在2機種のオートショックAEDをラインアップしています。

現在、オートショックAEDは、新たに導入いただくAEDの10%強を占めるに至っていますが、需要の高まりと機能面の多様化ニーズを踏まえ、価格面で発売中の2機種の間位置する3機種目のオートショックAED「AED CR2-Auto」の販売を開始することとしました。

セコムは2004年に日本で初めてレンタル方式のAEDパッケージサービスを発売して以来、AEDの状態のオンライン管理、AEDが使える人を育成・管理するスキルアップサービスなどを発売。AED累計販売台数は33万台、セコムのAEDによる救命人数は3,500名を超えました。(2023年8月時点)

これからもセコムは、AEDの更なる普及と救命率の向上のためにサービスの普及とAEDラインアップの充実を図り、“AEDがいつでも、誰でも使える社会”の実現に取り組んでいきます。

※1: Automated external defibrillator and operator performance in out-of-hospital cardiac arrest

／J.A. Zijlstra et al. (Resuscitation 118 (2017) 140-146)

[https://www.resuscitationjournal.com/article/S0300-9572\(17\)30217-4/fulltext](https://www.resuscitationjournal.com/article/S0300-9572(17)30217-4/fulltext)

※2: バイスタンダーが一次救命処置を実施した際のストレスに関する検討／田島 典夫他 (日本臨床救急医学雑誌)

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsem/16/5/16_656/_article/-char/ja/

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

セコム株式会社 コーポレート広報部 井踏

TEL : 03-5775-8210 E-mail : press@secom.co.jp

■特長

1. ボタン操作不要で、自動で電気ショック

電気ショックボタン操作が不要で、心電図の解析後に自動で電気ショックを実施します。

2. クイックステップ電極

電極パッドを袋から取り出しフィルムを剥がす行為を無くした、人間工学を駆使して設計された電極パッドで、傷病者に電極パッドを貼り付けるまでの時間短縮を実現。※ストライカー社製AEDの比較による

3. クリアボイステクノロジー

AED使用時の周囲の騒音を内蔵マイクで検知し、騒がしい環境下でもAEDが自動的に音量と音質を調整し、AEDの音声ガイダンスを明確に聞きやすくする機能。

4. 日本語／英語切換

AED本体パネルに付属のボタン操作ひとつで「日本語⇄英語」への言語切り替えが可能。

5. レンタル方式ならではの充実のサポート

消耗品の使用期限をセコムで管理し、交換時期にお送りします。また、AEDを使用した場合は、セコムまで連絡いただければ新しい消耗品を発送するほか、万一の盗難、自然災害による故障や破損の際は無料でAEDを交換します。

■料金体系

レンタル料：5,500円／月・台（税込6,050円）

保証金：20,000円／台（非課税）

契約期間：5年間（以降、1年毎の自動更新で最長8年まで）

■寸法・質量

・AED本体

高さ97mm×幅226mm×奥行226mm、約2.0kg（バッテリー・電極パッド含む）

・キャリングケース収納時

高さ130mm×幅245mm×奥行274mm、約2.75kg（AED本体含む）

<AED 本体>



<専用キャリングケース>



<構成品一式>



製造販売業者：日本ストライカー株式会社
販売名：ライフバックCR2 オートショック
医療機器承認番号：30300BZX00353000
高度管理医療機器／特定保守管理医療機器



オートショック AED 共通ロゴマーク

※JEITA(電子情報技術産業協会)が定めた共通ロゴマークでオートショック AEDであることを示します。



「オートショック機能」で、救助をサポート

AED CR2-Auto

初めての方でも、ためらわずに使える

AED CR2-Autoは心電図を解析し、電気ショックが必要と判断された場合、人によるボタン操作を必要とせずAEDが自動的に電気ショックを与えます。人による操作が不要なため、操作者のためらいにより電気ショックが行われない、または遅れるなどのリスクを減らすことができます。

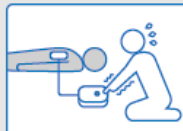
ボタン操作不要、自動で電気ショック

パッドを貼ると、心電図の解析を開始

電気ショックが必要な場合

一般的なAEDだと

電気ショックにはボタン操作が必要だが、ボタンを押すのをためらうことも…



ボタンが押されないことも

オートショック機能があれば

ボタン操作が不要で、自動的に電気ショックを実施



自動的にショックを与えます！
救助者へは体に触れないよう音声とイラストで知らせます。

胸骨圧迫(できる場合は人工呼吸も)を開始

クイックステップ電極で、すぐに貼り付け

色分けされた電極パッドを、イラストの通りにすばやく患者に貼り付け。電極パッドを袋から取り出す必要がないため、電気ショックまでの時間を短縮できます。



赤いハンドルを手前に引いてシートをはがします。



電極パッドの輪の部分引いて、パッドをトレイからはがします。



パッドのイラストを参考に貼り付けます。



聞き取りやすいクリアボイス機能

周りの騒音をマイクで検知。騒がしい環境下でも聞き取りやすい音量に自動調節します。



未就学児/小学生～大人モード切替機能



年齢により「未就学児用モードボタン」を押すことで、小学生～大人モードから切り替え可能。未就学児にも同じ電極パッドをそのまま使えます。

※未就学児とは、およそ6歳までの小児を指します。

●セコムのAEDラインアップ

<https://www.secom.co.jp/business/medical/aed/>

●セコムのAED関連発表資料

- ・ニュースレター（2018年6月7日）

「セコムAEDパッケージサービス」累計販売台数20万台を突破

救命人数は2,300名超、“AEDがいつでも、誰でも使える社会”の実現に向け市場をリード

https://www.secom.co.jp/corporate/release/2018/nr_20180607.html

- ・報道資料（2018年10月1日）

AEDのレンタルサービスとオンラインサービスをパッケージで提供

「セコムAEDオンラインパッケージサービス」を発売

https://www.secom.co.jp/corporate/release/2018/nr_20181001_2.html

- ・報道資料（2018年12月7日）

日本初、家庭用AEDのオンラインパッケージサービス「セコム・MyAED」を販売開始

https://www.secom.co.jp/corporate/release/2018/nr_20181207.html

- ・報道資料(2021年12月1日)

日本初、ショックボタン操作不要のオートショックAED「AED 360P」を販売開始

https://www.secom.co.jp/corporate/release/2021/nr_20211201.html

- ・報道資料(2022年2月14日)

カラー液晶画面付き、オンライン管理のオートショックAED「AED3250」を販売開始

https://www.secom.co.jp/corporate/release/2021/nr_20220214.html

以上